

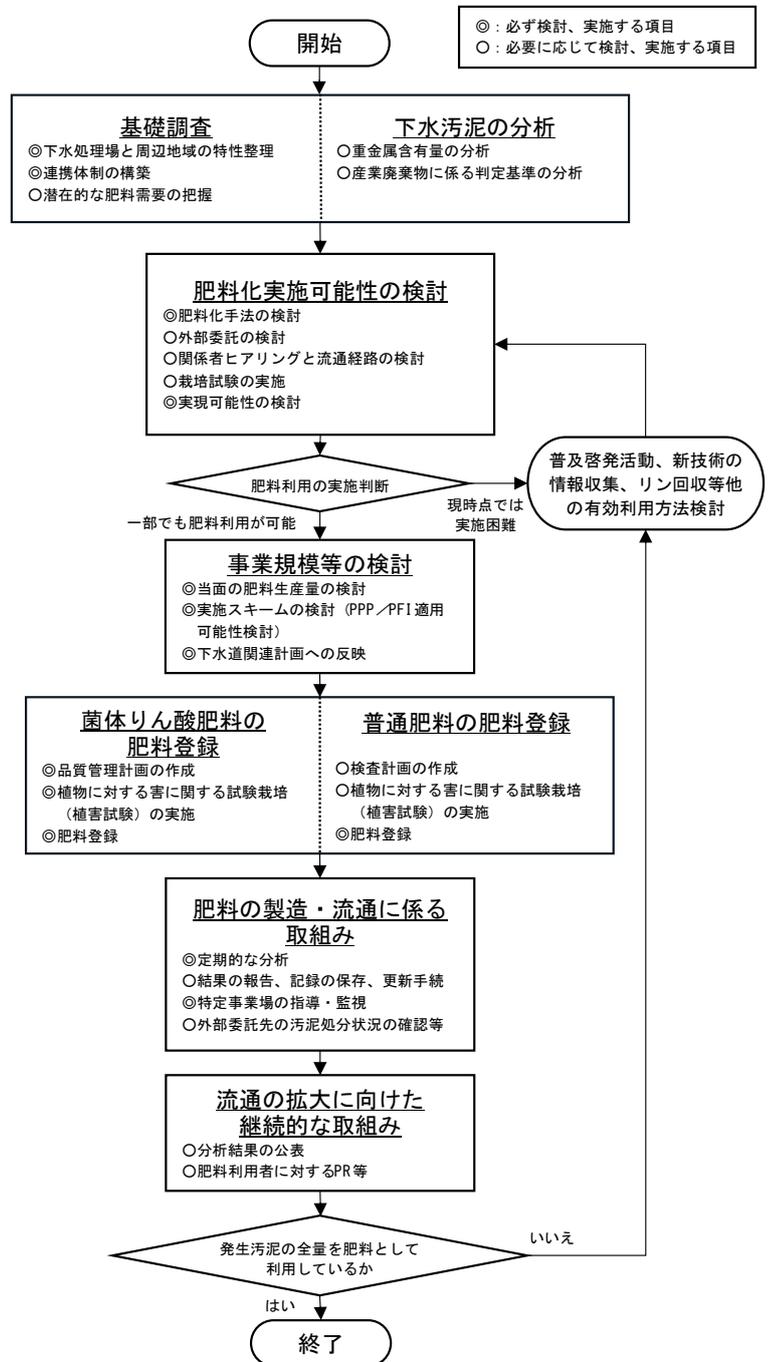
下水道資源の肥料利用



1

2

3



1



1

肥料化手法	評価項目
コンポスト等	重金属、コスト、用地面積、GHG排出量、 運搬可能性（外部委託の場合）、原液の適用濃度 等
リン回収	



2

4. 本市が原料提供を検討中の肥料

- 本市では、他の肥料との混合が可能な肥料の検討を進めているところです。（汚泥肥料以外の肥料について検討中）
- 松岡水資源再生センターの脱水汚泥の成分から、菌体リノ酸肥料としての肥料登録が可能であると見込んでいます。

肥料名称	主要成分 窒素成分の含有率	有機質に由来する肥料成分の含有率	検査項目	検査結果	検査機関	検査方法	検査時期	検査場所
脱水汚泥	15.8	10.1	窒素	15.8	カドミウム	0.001	2022年	松岡水資源再生センター
脱水汚泥	15.8	10.1	リン	10.1	カドミウム	0.001	2022年	松岡水資源再生センター
脱水汚泥	15.8	10.1	リン	10.1	カドミウム	0.001	2022年	松岡水資源再生センター

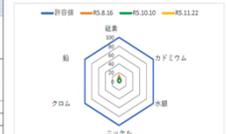


図 松岡水資源再生センター脱水汚泥の重金属含有試験結果
(公定規格の許容値に対する比率の分布（許容値を100として））

表 松岡水資源再生センター脱水汚泥の肥料成分試験結果

成分項目	R5.8.16	R5.10.10	R5.11.22
窒素全量(TN)	5.9	5.2	



3



年次	項目	値
2020		
2020		
2021		
2022		

